



# 道徳だより

2025.11.26 号  
みよし市立緑丘小学校



## 2年生「やくそく」(内容項目D 生命の尊さ)

### ねらい

自分の命は、自分だけのものではなく、多くの人の思いを受けていることに気づき、かけがえのない命を大切にしていこうとする心情を育てる。

### 授業の様子

めあてを「どんな思いで自分と約束したのだろう」として子どもたちに提示しました。自分の命について「大切である」「たった一つしかない」「なくなったら元に戻らない」などさまざまな考えをもっている子どもたちに【多くの人の思いを受けている】ことに気付いてほしいと考え、今回の授業に取り組みました。フェスタでは、それまでの学習で、多くの地域の方々にたくさんのことを教えていただき、学びを広げてきた2年生。今回の道徳で「いのち」についての考え方の幅を広げてもらいたいです。



#### 教材名「やくそく」の概要

友達の家で遊んだ帰り道。信号が青になる少し前に、前だけを見て、走り出した。いきなり車がカーブしてきて、車に当たって倒れてしまった。あわてて降りてきた運転手さんが、「大丈夫ですか」と言って救急車を呼んだ。心臓がドキドキし、足がずきずきした。

病院では、お母さんが涙をぼろぼろ流していた。そばで、弟も泣いていた。お父さんは私の手を握って「これくらいのけがでよかった」と言った。担任の先生も来てくれた。病院の先生が「頭には異常がありません。足の手当てをしておきました。念のため一日入院してもらいます」とおっしゃった。これからは絶対に事故に遭わないようにしようと思った。自分との約束だ。

教材の提示は、動画を使って行いました。動画を観ることで、より理解しやすくなりました。内容を確認しながら、主人公である「わたし」について「わたしは命を守るためにどんなことをしていたか」問うと「**信号をよく見る**」「**左右をしっかり見る**」「**車が来ないかよく確認する**」などの意見が出されました。発表を聴いている周りの子たちが、「へえ」「なるほど」と友達の見解に対して反応しているところが良かったです。次に「処置を終えたわたしの周りにいる人たちの気持ちについて」考え合いました。ここでは挿絵の表情をよく見て考えました。まずは、泣いている人について問うと「**心配だった**」「**生きていてよかった**」「**大きなけがでなくよかった**」「**もし死んでいたら・・・**」などの意見が出されました。続いて微笑んでいる人について「**軽いけがですんでよかった**」「**安心した**」「**気持ちがホッとして笑っている**」と答えていました。最後に、主人公がした「自分との約束」について考えました。「**痛い目を見ないようにしっかり気を付けよう**」「**自分も家族も心配しないようにしよう**」「**自分の命は自分で守ろう**」「**このことをきっかけに命を大切にしよう**」と答えていました。自分の大切な命を守るのは、自分であることを改めて考える時間になりました。

